



健康教育講演会

「がんに関する基礎知識と放射線

治療の現状」

講師 永田 靖 先生

6月12日(火)7限目、1年生を対象とした健康教育講演会を実施しました。講師は昨年に引き続き広島大学大学院放射線腫瘍学 広島大学病院放射線治療科の永田 靖先生でした。

がんの原因やがんの治療方法について学ぶとともに、自分や家族の食生活等の生活習慣についても振り返る機会となりました。



生徒代表挨拶

がんを防ぐための新12か条

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1条 たばこはすわない(喫煙) | 7条 適度に運動(身体活動) |
| 2条 他人のたばこの煙をできるだけさける | 8条 適切な体重維持(体形) |
| 3条 お酒はほどほどに(飲酒) | 9条 ウイルスや細菌の感染予防と治療(感染) |
| 4条 バランスのとれた食生活を(食事) | 10条 定期的ながん検診を(検診) |
| 5条 塩辛い食品は控えめに | 11条 身体の異常に気がついたらすぐに受診 |
| 6条 野菜や果物は不足にならないように | 12条 正しいがん情報でがんを知ること(情報) |

～ 生徒の感想 ～

★がんを発症する人は年間100万人以上になったことが分った。早期発見をすることで治療できることから、定期的に検診に行くべきだと理解した。

★一口にがんと言ってもたくさんの種類があり、場所によって原因や治療方法が全く違うことに驚いた。放射線だけで治療できるがんが多いことが印象に残った。

★がんにならないために、飲酒・喫煙を避け、食生活ではバランスに心がけるようにし、生活習慣を整えていきたいと思う。

★放射線治療はがん以外のところは傷つけず、体への負担が少ないことが分った。

★自分自身だけでなく、家族や友人ががんになった場合、支え合って精神的な面でも治療していくことが大切だと思った。